



うれしいことがたくさん!!

校長 工藤 誠志

台風14号が通り過ぎたら、空がとても青い色で、風が肌寒くなり急に秋めいてきました。学校は来週に前期終業式を迎え、10月になるのと同時に後期がスタートします。もう半年が過ぎたんだな～と感じているところです。

小学部低学年のある教室にお邪魔すると、私の前に背中を向けて立つ子どもが続出しました。「もしかしたら…」と思い、「グルグルですか?」と聞くと、こくりとうなずいて、子どもは「お願いします!!」と伝えてきました。それを聞いて、私は子どもを抱えて、その場で3回転すると大喜びです。グルグルには縦回転、横回転、高速回転いろいろなバリエーションがあります。すぐに別な子どもが私の前に立つのを何度か繰り返します。教室には順番を待っていたり、様子を見てなんとか自分もやらしてもらおうと考えたりしている子どもたちの姿が見えてきます。ほんの少しで時間ですが子どもたちとかかわる喜びと、学級担任の一人になれる楽しさを感じています。

先日、授業の様子を見て歩いていると、小学部3年生の子どもたちが手招きして「校長先生、入ってよ。勉強するよ。」と話してきました。また、別の日には小学部5年生の子が遠くから廊下をダッシュしてきたかと思ったら、「ぼくね、学校に泊まるよ。うれしいな」と話してくれました。数日後に4年生が「今日は、324回縄跳び跳べたよ」、中学部2年生が「私は、2桁の足し算ができました。」、作業学習の途中に中学部3年生が「窓をきれいに拭いています」と教えてくれました。子どもたちから声をかけられる場面が増えてうれしい日が続いています。子ども自身から伝えられることはリアルタイムですし、うれしい表情と一緒に、その子の感じていることがしっかりと伝わってきます。私は、「できた」という喜びを感じながら、放課後に指導している先生から指導の様子や経過等を聞いています。先生方が計画的に手立てを準備して取り組む姿勢を感じることができています。子どもたちの頑張り先生方の取り組みに拍手です。

子どもたちが、後期にどんな成長をするのか楽しみです。保護者の皆様の御協力とともに多くのことを体験し学び、友だちとのかかわりを豊かに、さらに大きく成長できるように努めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

ハニ養メモ帳

9月16日にPTAの茶話会に出席させていただきました。参加された保護者のみなさんから子どものこと、生活のいろいろな場面で困っていることを聞くことができました。

この会に参加していた田中博子中学部主任や沖野孝紀渉外部主任に聞いてみたり、一緒に考えたりすることができたようです。私も学校と施設との連携に関する要望、放課後等施設の情報、性の指導等について助言をさせていただきました。

参加できなかった保護者の方も「これはどういうこと?」「どうしたらいいのかな?」といったことはたくさんありそうです。どんなことでも学校全員で解決に向けて応援しています。まずは担任の先生に気兼ねせずに聞いてみてください。

【教職員について】

先月、小学部の横道利喫先生が一身上の都合により退職されたことをお知らせします。

現在、小学部では3名の教員が欠員となっております。新しい教員が勤務できるように準備を進めているところです。配属等決まり次第お知らせいたします。もうしばらくお待ちください。